



ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2012年8月号 ほくら ちよこ 保倉 千代子 書

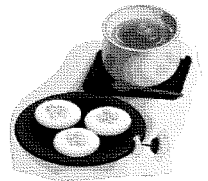
立川お茶のみ会

平成24年7月13日（金）に佐野区立川組でいきいきサロン（お茶会）が行われました。この日も気温が高く、公会堂に集まった皆さんは汗をぬぐう方が大勢見受けられました。

集まった皆さんで、頭の体操として「かなひろいテスト！！」に挑戦しました。5分間程、皆さんには集中して挑戦をしていただきました。「メガネを持ってくればもっと拾えた。」、「平仮名だけの文章って読みにくいな」、「うちへ帰ってもう一度やるんだ」、「たまにはこういうものも良いな」と様々な声が聞こえてきました。

これからの時期は暑い日が続きます。午後の暑い時間帯は、熱中症に気を付け自宅でゆっくり休むようにしましょう。その合間にテストに挑戦してみたいかがでしょうか。

今回の表題を書いてくださったのは、立川お茶のみ会の参加者の保倉千代子さんです。



次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あ、い、う、え、お」をひろいあげて、○をつけてください。（制限時間2分間）

（例題）

むかし、あるところに、ひとりぐらしのおばあさんがいて、としをとって、びんぼうでしたが、いつもほがらかにくらしていました。ちいさなこやにすんでいて、きんじょのひとのつかいはしりをやっでは、こちらでひとくち、あちらでひとのみ、おれいにたべさせてもらって、やっとそのひぐらしをたてていましたが、それでもいつもげんきでようきで、なにひとつふそくはないというふうでした。

ところがあるばん、おばあさんがいつものようににこにこしながら、いそいそとうちへかえるとちゅう、みちばたのみぞのなかに、くろいおおきなつぼを見つけました。「おや、つぼだね。いれるものさえあればべんりなものさ。わたしにやなにもないが。だが、このみぞへおとしてったのかねえ」と、おばあさんはもちぬしがいないかとあたりをみまわしましたが、だれもいません。「おおかたあながあいたんで、すてたんだろう。そんならここに、はなでもいけて、まどにおこう。ちよっくらもっていこうかね」こういっておばあさんはつぼのふたをとって、なかをのぞきました。

*福祉通信『ちからこぶ』は、再生紙を使用しています。

Infomation

△▼△ 北信ブロックボランティアの集い参加者募集 △▼△

「なんかやろう!! 汗かき・知恵だし・すく出し・ささえあい」

～地域活動の課題にあなたはどようする～

- ・日 時：平成24年度9月29日(土)13時15分～16時30分
- ・場 所：山ノ内町文化センター
- ・内 容：☆活動発表
各市町村の地域の様子やボランティアグループの活動内容について報告。ボランティア活動から困っていること・悩み・成功している事例など発表していただきます。
【パネラー】おはなし遠足の会(中野市)、ふれあいランチグループ(木島平村)
まちづくりワークショップ楓(山ノ内町)、わくわく商店街実行委員会(山ノ内町)
☆パネルディスカッション
各グループにはボランティア・地域活動について様々な悩みや問題点など抱えています。役のなりてがない、高齢化問題、会員の減少、資金が欲しい…など。また市町村が違って地域の子・高齢化問題、閉店舗が多くて購入する店が限られている、交通の不便さ・子育て問題など共通の課題を抱えていると思います。パネラーだけでなく参加者全員でディスカッションし、ボランティアの力で地域を元気にするアイデアを持ち帰りましょう。
【コーディネーター】瀧野 良枝さん(フリーアナウンサー)飯綱町在住
- ・参加費：200円
- ・申込方法：山ノ内町社会福祉協議会 つつみ住民活動センターへ9月14日までにお申込みください。
電話33-2810 有線4280

△▼△ 戦没者遺児による慰霊友好親善事業への参加募集のご案内 △▼△

父等を国に捧げた戦没者の遺児が、一度は亡き父等の眠る地に赴き心ゆくまでの慰霊追悼を行い現地の方々との友好親善を深めることを目的としています。

- ・参加費用 9万円(集合場所までの往復交通費、帰国時宿泊代、渡航手続手数料等は含まれておりません。参加費は、燃料費の高騰、円高等諸般の事情のより値上げする場合があります。)
- ・参加資格 ①戦没者の遺児
本事業は、戦没者遺児を対象とした慰霊友好親善事業ですので、それ以外の方は参加出来ません。
②本事業は、今回実施する地域(実施地域周辺の公海上にて戦没された方も含む)以外をご希望される方は参加できません。

実施地域	実施期間	募集人員	申込締切
東部ニューギニア	平成24年10月13日(土)～10月20日(土)	40人	平成24年8月30日
ボルネオ・マレー半島	平成24年10月22日(月)～10月31日(水)	30人	平成24年9月7日
トラック諸島	平成24年10月27日(土)～11月3日(土)	20人	平成24年9月13日
パラオ諸島	平成24年10月27日(土)～11月3日(土)	20人	平成24年9月13日
ソロモン諸島	平成24年11月3日(土)～11月10日(土)	20人	平成24年9月19日
フィリピン	平成24年11月14日(水)～11月21日(水)	120人	平成24年9月28日
ミャンマー	平成24年11月26日(月)～12月5日(水)	60人	平成24年10月12日

- ・申込方法 参加希望される方は、山ノ内町遺族会事務局までご連絡下さい。
山ノ内町社会福祉協議会 つつみ住民活動センター電話33-2810 有線4280

△▼△ 介護者リフレッシュ教室のご案内 △▼△

介護者リフレッシュ教室は町内の在宅で介護されているご家族を対象にリフレッシュしていただくことを目的に毎月実施しています。

施設見学、介護の学習会やマレットゴルフ、バスハイキング等を行っています。参加者からは「介護をしている仲間同士の集まりなので、日頃の悩みや困ったことなど話していて共感を持つことができる・・・」とのこと。まだ参加されたことがない方も気軽に参加ください。

次回開催日は8月21日(火)午後1時～3時「リンパマッサージ」を行います。

参加費100円(オイル代)持ち物はタオル、ラップの芯(ある方)

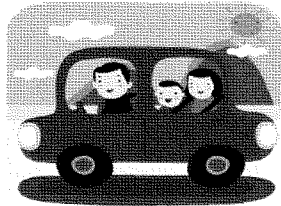
参加希望の方は担当のケアマネージャー又は社会福祉協議会までご連絡ください。

電話33-1105 有線2038

みんな元気!! いきいきサロン!!

◎佐野宮組お茶のみ会(7/23)

今回は、ゲーゴルゲームの輪投げに挑戦をしました。初めて挑戦をする方、以前に体験をした方と色々でした。狙いを定めているつもりが他の参加者のところへ飛ばしてしまうハプニングもあったり、高得点に吸い込まれるように何本も輪が入る方もいて大変盛り上がりました。普段とは違う筋肉を使っの輪投げで皆さん楽しまれていました。近所であっても、こうした集まりがある事で色々な方と行き会い、話に花が咲きます。皆さんもお近くのサロン(お茶のみ会)へご参加してください。



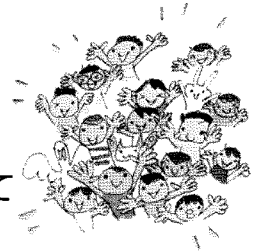
出張無料!

出前講座のご案内

町社会福祉協議会では、地域の皆様とより身近な地域福祉をめざしたいと考え、出前講座を受け付けております。

○講座名

- | | |
|----------|-----------------------|
| ・介護について | ・視覚障害について学ぶ |
| ①移動 | ・軽運動・レクレーションを学ぶ |
| ②身だしなみ | ・介護保険及び障害福祉サービスについて |
| ・車イス体験 | ・まちなか探検 |
| ・福祉用具紹介 | ・災害時の福祉救援ボランティア活動について |
| ・高齢者疑似体験 | ・救急法(心肺蘇生法とAEDの使用) |



【お問い合わせ・お申込み先】

山ノ内町社会福祉協議会 地域福祉係(つつみ住民活動センター)
電話33-2810 有線4280

平成24年度 日本赤十字社寄付金及び社費

1,512,755円 (平成24年7月27日現在)

皆様からお寄せいただいた寄付金及び社費は、国際活動・災害救援活動・救急法等に有効に使われます。山ノ内町では、炊き出し実習や日赤奉仕団活動、被災地への支援活動等に役立たせていただきます。ご理解ご協力ありがとうございました。

社協会費のお願い

「一人を支え、地域を支え、つくり出そう安心な町」をめざし、多くのボランティア活動や、区・組等での福祉活動、またふれあい広場・社会福祉大会等啓発事業が繰り広げられています。こうした活動をサポートし、地域福祉を担うため社会福祉協議会の会員になっていただきますよう、全世帯の皆さんに格別のご協力をお願い申し上げます。

～社協の予定～

8月

7	火	・結婚相談所
8	水	・わくわく商店街
9	木	・ほのぼのランチ
10	金	・脳元気教室
11	土	避難所体験お泊り会 (つつみ住民活動センター)
12	日	
13	月	デイサービス 配食・訪問入浴 夏季休業
14	火	
15	水	
16	木	・ほのぼのランチ 《ももの木・カフェほっとたいむはお休みです》
17	金	《脳元気教室はお休みです》
18	土	
19	日	介護者リフレッシュ教室 (リンバマッサージ)
20	月	
21	火	・結婚相談所
22	水	・わくわく商店街
23	木	・ほのぼのランチ
24	金	・脳元気教室
25	土	町総台防災訓練 (南小学校 13:00～)
26	日	・上条区おたっしや会 ・本郷ふれあいの日
27	月	
28	火	・結婚相談所
29	水	県身体障害者福祉大会 (長野市)
30	木	・ほのぼのランチ
31	金	・脳元気教室
9月	1	土
	2	日
	3	月
	4	火
	5	水

☆ご寄付をいただきました☆

みなさまのご芳志を心より御礼申し上げます



町民ゴルフ実行委員会 様

64,838円

お寄せいただいた寄付金は社会福祉基金に積立し、その果実を福祉事業に役立たせていただきます。なお、このほかにもたくさんの方から、雑巾やおむつなどのご寄付をいただきました。お名前は略させていただきますが、お許し願います。温かいご厚志、誠にありがとうございます。

くらしのたより

信州は“日本の屋根”と呼ばれています。日本には標高2,500m以上の山は150～160山ありますが、そのうちの90山ほどは長野県にあるんです。さらに、3,000m以上の山は21山ありますが、そのうちの14山が長野県や県境になります。

日本の平均標高は382mで、長野県は1,100mほどで全国では断とつに高いんです。このようなことから、長野県は“日本の屋根”と言えると思います。

日本では昔から高い山は「俗でない所」とされていて、人の手が入らず、神の領域でした。そのため、お花畑・雷鳥・チョウなどが原生のままの姿で見ることができんです。高山の象徴でもある雷鳥は、日本の雷鳥が世界で最も南に分布していますが、世界に分布している雷鳥の中で、日本雷鳥は人を恐れない珍しい集団なんです。

山にかかわる歴史を見ると、江戸時代ごろ、山は信仰の時代であって、そのための登山をするようになってきました。明治・大正時代になると学校登山をするようになってきます。それから本格的な登山は、1960年前後で険しい山、難しいルートを登るようになりました。世界には8,000mを超える山は14山ありますが、その中で日本人が唯一初登頂した山が、ヒマラヤ山脈のマナスル山で1956年のことでした。このことが登山ブームのきっかけになりました。そして現在では、中高年の方の登山やファミリー登山というように、誰でも楽しく登山するようになってきました。山に登った時の景色や達成感など何とも言えない気持ちになります。人間の心の中には「自然回帰」というものがあります。もともと人々の暮らしは自然の中であって、次第にそこから離れていって、都市的な生活をするようになっていますが、ふたたび自然に近い生活を求める心が、人間の中にあるのではないのでしょうか。

長野県には、どこの市町村にも山がありますが、みなさんなりの“ふるさとの山”はありますか？時には、そんな山に登ってみても、また麓から眺めてみるのもいいんじゃないでしょうか。(山)

社是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみなさまと共に歩む社協=

- 福祉通信ちからこぶ 平成24年8月7日発行 ●発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
- 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3371-2(山ノ内町地域福祉センター内) TEL.0269-33-1105 FAX.0269-33-8413
- URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp> ●E-mail info@honobono-shakyo.or.jp ●印刷 うさぎや印刷